



過ちを改むるに ^{はばか} 憚ることなかれ 過ちて改めざる、是を過ちと謂う(論語 学而篇)

私たちは、自分が知っていることは「正しい」と思い込んでしまいがちです。しかしながら、知識はいつの間にか変わってしまうことがある。私たちが学校で習った最古の人類はアウストラロピテクスでしたが、今の子ども達が学んでいる教科書ではサヘラントロプス・チャデンシスという聞いたこともないものに変わっています。

また、鎌倉幕府の成立も語呂合わせで暗記した“いい国つくろう”(1192年)ではないと言われます。昔教わったテストのために一生懸命に記憶した知識が、知らぬ間に新たな発見によって更新されていきます。新たな知識が増えた満足するのではなく、どこかで疑いながら、更新していくことが求められているのでしょう。先月号でも、インターネット詐欺に遭いかけた自分の失敗談を語らせていただきましたが、今月もまた、私の恥ずかしい思い込みを白状させていただきたいと思います。

先日、NHK の大河ドラマ『豊臣兄弟！』を見ていました。ちょうど本能寺の変で、信長が最期に舞う「敦盛」の「人間五十年、下天のうちをくらぶれば、夢幻の如くなり……」という場面が映し出されていました。私はずっとこの「人間五十年」を、戦国時代の人間の寿命が五十年だと勝手に思い込んでいました。信長の享年が48歳なので、「戦国の人は五十年ほどしか生きられなかった。私たちはその倍、人生百年時代を生きようになった、だから頑張っていこう…」と、いろいろな場面で話してきました。でも、これは間違いだと教えられました。

そもそも「人間」は「にんげん」とは読まないとのこと。正しくは「じんかん」で、それは「人間界」を意味します。人間界の五十年間は、天界の最下層である「下天」の一日に等しい、ほんの一瞬(刹那)にすぎないという仏教の時間概念を示すものでした。また、「敦盛」は能ではなく幸若舞であり、信長が「敦盛」を舞ったと伝えられるのは桶狭間の合戦に臨む際とのこと、本能寺の変で死の間際に舞ったというのは、後世の演出のようです。

日本文学講座で、小助川 元太先生から何度も平家物語の「敦盛」の話を聞きながら、私は勝手に人生百年時代の話をつくり、それを他人に“したり顔”で話していました。知らないことは「知らない」と言えますが、一度「知っている」と思い込むと、その知識を疑うことを止めてしまいます。また、自分の間違いを認めることへの抵抗感もあり、過ちを改めることのハードルは結構高いものだと思えてきました。

私たちは子どもの頃から銀行型の教育に慣らされてきました。知識が多ければ多いほど良い、社会に適応するため、成功するためにはまじめに勉強しなければいけないという価値観です。でも本当に大切なことは、新しいことを学んだ際に、それまでの自分の理解と照らし合わせ、「ああ、そうだったのか」と考え直す。必要ならば自分の知識や考え方を修正する。その往還があればこそ、学びは成熟していくのだと思えるようになりました。ありがたいことに人生百年時代を生きる私たちには、自分を修正し、学び直すための時間のゆとりができました。「知ったつもりだらけ」の自分に気づき、また新たな地点から学び直すことができる時間を、どう豊かに使っていけるかが、本当の生涯学習の愉しさなのでしょう。

終わりにになりますが、私の人生百年時代の虚言を聞かされていた皆様に、改めてお詫び申し上げたいと思います。これからもやり直しができる時間に感謝し、皆さんと一緒に、知らないことを学び、知っていると知っていることを修正し続けていきたいなと思います。(文責 関) 挿画は ChatGPT で作成しました。

人生の30km地点を過ぎて —— 速く走るだけが、人生じゃない。

けん玉遊び講座 講師 柿木 仁

人生をマラソンにたとえるなら、私は今、30km 地点を過ぎたあたりにいるのかもしれませんが。マラソンでは、30km を過ぎると急に足が重くなります。私自身も走った経験がありますが、足が動かなくなり、失速してしまいました。「完走できればいい」と言い訳しながら走っていたことを思い出します。

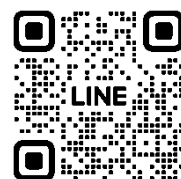
平均寿命を 42.195km に重ねてみると、自分の年齢はちょうど 30km を過ぎたころ。そう考えると、「残りの人生を、どんなふうに走っていこうか」と考えるようになりました。人生は、マラソンのように速く走ることが目的ではありません。風を感じ、景色を眺め、途中で出会った人と話しながら、自分のペースで楽しんで走るのもいい。時には立ち止まって、これまでを振り返ることも大切なのだと思います。

退職が見えてきたころから、私は「これからの人生をどう生きるか」を考えてきました。そして、幸福について学び、ポジティブ心理学を基礎とした学びを続け、HSA(ハピネス・スタディ・アカデミー)認定トレーナーになりました。また、ピースポート「地球一周の船旅」にも参加し、多くの経験をえました。

これからは、自分も周りの人も、少しでも幸福に生きるお手伝いをしていきたいと思っています。けん玉教室、幸福についての講座、児童生徒の不登校支援などを通して、人との出会いと学びの輪を広げていきます。(ご要望があればご相談ください)

人生の後半戦も、一喜一憂しながら、出会いを楽しみ、自分らしいペースで走っていきたいと思います。さて、次はどんな景色が待っているのでしょうか。

不登校支援
WELLB サポート
LINE 連絡先です。
必要な際にご連絡を



受講のご案内 多様な考え方を考える講座

- 【日 時】 10月27日(火) 13:30~15:30
【場 所】 ウィメンズプラザ多目的ホール
【テーマ】 「ジェンダーから見たまちづくり」
【講 師】 萩原 なつ子 (立教大学名誉教授・前国立女性教育会館理事長)
【受講料】 無 料

➡ 参加いただける方は、生涯学習センター 33-2991にご連絡ください。



少子高齢化や共働き世帯の増加など、地域を取り巻く環境は激変しています。この講座では、多様性・公平性・包摂の視点を軸に、性別を問わず「ケア」を真ん中に置いた「ケアリングコミュニティ」の実現について考えます。知識の習得に留まらず、ワークショップを通じて対話を重ね、一人ひとりの多様性が尊重される地域づくりのヒントを探り、明日からの活動へつなげてみませんか。

★ 講師の萩原なつ子先生は、東京都豊島区が23区で唯一消滅可能性都市に指摘された時に、区が立ち上げた「としまF1会議」座長を務め、若い女性たちのリアルな声を引き出し「女性にやさしいまち」に転換する活動に取り組まれました。兵庫県豊岡市でもジェンダーギャップの解消に取組み元気なまちづくりをバックアップされました。「誰もが生きやすい暮らしのカタチ」を対話を通じて一緒に発見していく伴走型の学びを提唱しています。



“まるで人間？”



No.66
私の生涯学習

山本 章代

子供の頃から、どのようにサルが人間に変化したのか興味がありました。先日、「まるで人間？草原のチンパンジー」という NHK の番組を見て、多くの謎が解けたので、それを皆さんにご紹介したいと思います。

西アフリカの国セネガルで、30頭程のチンパンジーの群れを、20数年かけて観察したお話です。そこは40度を超えるアフリカ有数の乾燥地帯。水も食料も乏しく、サルたちは広い土地を移動しなければなりません。サバンナを移動する時、雄ザル達は二足で立ち、周りを警戒して群れを守ります。森のサルに比べると彼らの二足歩行の時間が長く、また、体毛も薄いそうです。

彼らは、道具も使います。木の枝を折って葉をこそげ、一本の細い棒を作り、それを蟻塚に差し入れ、登ってくる白蟻を食べます。また、もう少し太い棒の先端を尖らせ、木の洞(空洞)に住む小さなサルを捕食します。研究者は、道具を使うと罪悪感が薄れるのでは、と言います。驚くことに、人間が開発と称して森林を伐採し火をかけると、彼らは逃げずに、恍惚と近くでその火に見入ります。理由はまだわかっていません。この様に、体毛が薄く、二足歩行を行い、道具を使い、火を恐れない、人間そっくりのサル達は、今や世界中の研究者の注目の的です。彼らは、研究を始めた20数年前「幻の猿」と呼ばれ、村人さえその姿を見たことがありませんでした。しかし、人間が森林を伐採し続けたため、彼らは今、バイクが走る道路のすぐそばを、群れで移動しています。

近年、我々人間は異常に繁殖し、その80億の腹を満たすため、数多くの動物や植物を犠牲にし、地球上の他の生物の生存環境を脅かしています。ましてここ数年は、同種の人間をドローンやミサイルで毎日殺し続け、罪悪感というものはありません。私達は、人間の祖先を訪ねる旅をしつつも、我々がどこに向かって進むべきなのか、真剣に考える時なのではないでしょうか？

★若者たちの活動へのご招待★

星槎国際高等学校 新居浜キャンパス 新居浜高等学院

新居浜高等学院2026文化祭～歓喜歓楽～

日時 2026年11月7日(土)
10:00～14:00

場所 新居浜高等学院内 新居浜市坂井町2-3-8
フジ新居浜駅前店の東側・JR 新居浜駅の西北

☎ 32-5356

先日行われた「なつかしの昭和」の講座で、楽しく語り合った生徒たちの出し物や作品展示があります。

(なつかしの昭和に参加しての感想)

- ・色々な世代の方たちとお話しできてとても楽しかったのと、昭和は今とは全く違う時代で変わってきたことを感じたのと同時に、まだ変わらず残っているものもあって面白かったです。また機会があればお話ししたいなと思いました。(Tさん)
- ・昭和に生きた人と話すことはあっても、昭和そのものや価値観の違いを意識し考えたことはなかったので、とても貴重な体験でき、思っていたより共通点があり驚きました。(Kさん)
- ・交流が少なくなっていると聞いたので、おばあちゃんたちのイベントに私たちが参加していきたいです。(Bさん)



講座カレンダー



予定のご確認を...

※警報や災害・講師の都合などで
日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	開始時間	会 場
4	水	◎懐かしの心の唄講座	5	時代が生んだ懐かしい歌を唄う⑤	10:00	文セン別館中ホール
		人生百年医学講座	5	外科医から見る肺の病気についてのお話	14:00	文セン別館視聴覚教室
6	金	古典講読～“かなふみ”源氏物語～	3	「ものがたり」という古語	13:30	生涯学習センター
7	土	◎身近なSDGsを一緒に考えましょう	5	農業のSDGs	9:30	生涯学習センター
		◎日本文学講座	6	井上靖「天平の薨」	13:30	文セン別館視聴覚教室
9	月	人間学講座～「中庸」を読む～	6	誠の生き方（至誠無息）	9:30	生涯学習センター
		◎多様な考え方を考える講座	3	わたしの新居浜、あなたの新居浜 ～外国人のウェルビーイングとは～	13:30	リアントゥール
10	火	M 英国式ティ	1	英国的アフタヌーンティ	10:00	ふれあい調理実習室
		おとなのための絵本セラピー	5	ひろい世界に	13:30	生涯学習センター
11	水	新・雑談しま専科	6	感染症予防について	9:30	生涯学習センター
		最新理論から学びしあわせ学入門	3	学びをうながすコミュニケーションとは	13:30	生涯学習センター
12	木	ふるさとを学ぼう	3	郷土の歴史と市史の編さん	10:00	生涯学習センター
13	金	自然学校～自然の大切さを学ぶ～	3	街なか観察会A	10:00	現 地
14	土	◎新居浜高専市民講座	6	台湾漫遊～歴史・言葉・文化～	9:30	新居浜高専視聴覚教室
		松山大学公開講座	7	ソングライター浜田省吾さんの軌跡	13:30	生涯学習センター
16	月	M 健康体操	1	楽しく健康体操	10:00	ふれあい多目的アリーナ
17	火	M かまぼこ板	1	かまぼこ板に絵を描こう！	13:30	生涯学習センター
18	水	別子銅山の歴史をたどる（初級）	4	大正の躍進と共存共栄	9:30	生涯学習センター
		今こそ知ろう！薬膳パワー！	4	冬・春の薬膳と生薬	13:30	生涯学習センター
19	木	別子銅山の歴史をたどる（上級）	4	別子大水害	9:30	生涯学習センター
20	金	自然学校～自然の大切さを学ぶ～	3	街なか観察会B	10:00	現 地
		古典講読～“かなふみ”源氏物語～	4	「ひかる源氏」をめぐる伝承	13:30	生涯学習センター
24	火	◎へんろ学と郷土物語	5	霊験	9:30	生涯学習センター
		はつらつ健幸講座	5	「今の暮らしを続けたい」 を叶えるために	13:30	生涯学習センター
25	水	M ミニチュアケーキ	1	ミニチュアケーキを作ろう	10:00	生涯学習センター
26	木	科学博物館講座	6	昆虫と外来生物法 ～愛媛でも見つかった！？あの虫この虫～	10:00	科学博物館第1研修室
27	金	M 天然記念物 川西・上部	1	新居浜の天然記念物～川西・上部編～	9:30	現地
28	土	◎松山大学公開講座	8	「プレイス・ブランディング」による 地域づくり	13:30	生涯学習センター

※ ◎がついている講座は聴講可能講座です。（聴講の申し込みは事務局までご連絡ください。）

赤字は講師の都合により、変更が生じた講座です。